



令和6年1月
条南小学校

あけましておめでとうございます。今年も、安全で安心な給食はもちろん、心と体を育てる給食を目指して努めてまいります。給食室一同、どうぞよろしくお願いいたします。

節目や行事食を大切に！

日本には節分やひなまつり、端午の節句などの行事には、古くから伝わる食文化があります。その中でも1年の始まりを迎えるお正月の食文化について紹介したいと思います。

おせち料理

家中の人がそろってお正月を楽しむために、作りおきしておく料理です。新しい年を迎えるお祝いの料理なので、おめでたい材料を使っています。それぞれの料理には家族の健康や子孫繁栄などの願いが込められています。



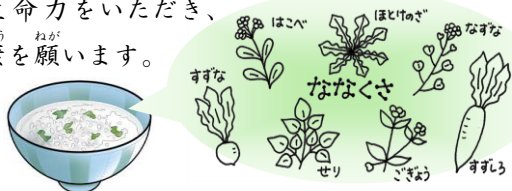
どうに

「どうに」は漢字で「雑煮」と書き、いろいろなものを一緒に煮るという意味です。お正月に雑煮を食べる風習は室町時代のころからありました。年越しの夜に供えた餅を食べることにより、神様と自分たちの結びつきを年の始めに新たにすることがあります。



七草がゆ

1月7日には『七草がゆ』を食べます。お正月でござうが続いて疲れた胃腸もひと休みできますね。春の新しい生命力をいただき、1年の健康を願います。



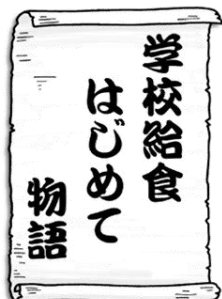
かがみびら鏡開き

1月11日には「鏡もち」を下げ、木づちなどでたたき割って食べる、『鏡開き』を行います。「切る」という言葉や刃物は、おめでたい時には縁起が悪いという考え方があったため、鏡開きとしました。ようです。お汁粉や雑煮にして、無病息災を祈って食べます。



1月24日～30日は「全国学校給食週間」です！

全国学校給食週間とは、学校給食の意義や役割について理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的として行われています。



明治22年



まず貧しい家庭の子どもたちは、子守で学校に行けなかったり、お弁当を持ってこれなかったりしました。

雨の日も風の日も



佐藤霊山さんというお坊さんが中心となって、お金を集め、給食費にあてました。

学校給食の始まり



忠愛小学校では、給食が食べられるので、貧しい子どもたちも学校で学べるようになりました。

現在の給食

郷土料理や世界の料理など、様々な形で栄養バランスのよい給食が食べられるようになりました。

給食週間は、石川県の郷土料理・食材を使った献立や中学生献立コンクールで入賞した献立をアレンジして提供します。お楽しみに！！